

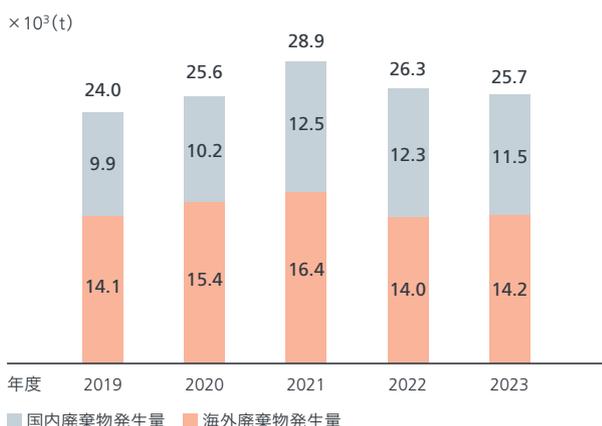
ESG / 環境関連活動

資源の有効活用と循環型社会構築への貢献

廃棄物の取り組み

2023年度におけるグループ全体の廃棄物発生量は、2022年度の26.3千tから25.7千tに減少しました。有価物を含む廃棄物の内訳は、廃プラスチック類、廃油、汚泥が大部分を占めています。太陽誘電では、引き続き、廃棄物発生量を削減し、廃棄物の社内リサイクル率を高めるとともに、海外拠点における再資源化を強化していきます。

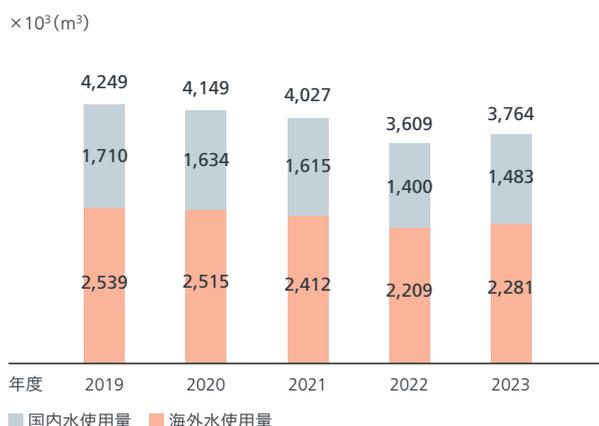
廃棄物発生量



水資源の取り組み

2023年度のグループ全体の水使用量は、2022年度の3,609千m<sup>3</sup>から3,764千m<sup>3</sup>に増加しました。内訳では、国内拠点が2022年度の1,400千m<sup>3</sup>から1,483千m<sup>3</sup>に増加、海外拠点が2022年度の2,209千m<sup>3</sup>から2,281千m<sup>3</sup>に増加しています。取水量の内訳は、地方自治体の水道(または他の水道施設から)の取水が3,424千m<sup>3</sup>、淡水・地下水からの取水が340千m<sup>3</sup>となっています。水のリサイクル量は713千m<sup>3</sup>でした。

水使用量



取水量 (× 10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )	
地方自治体の水道 (または他の水道施設から)	3,424
淡水・地下水	340

2023年度の取り組み例

表面処理方法変更による廃棄物削減

[太陽誘電ケミカルテクノロジー]

電子部品の表面処理を行う一部の工程では、生産プロセスの中で使用した化学物質を廃棄物として適切に処理しています。表面特性を高めるために必要な化学物質の使用方法の検証・見直しを行い、廃棄物を削減できました。削減した廃棄物の排出量は133t/年でした。

めっき工程の節水

[TAIYO YUDEN (SARAWAK)]

電子部品のめっき処理する工程では、様々なプロセスで水を使用しています。生産プロセスを見直すとともに、水の投入量を検証・改善することで、水の使用量を削減できました。削減した水は37,200t/年でした。